

第 63 回 ICSB World Congress に参加して

藤 本 寿 良

(大阪経済大学情報社会学部教授)

2018年のICSB (International Council for Small Business) 世界会議が、2018年6月26日～29日に、台湾・台北市のTaipei New Horizon で開催された。この国際会議に参加する機会を得たので、その様子を報告する。

まず、今年の会議のテーマは「Reshaping the World Through Innovative SMEs」であり、革新的な中小企業の実態とその役割を意識したものであった。

27日～29日の本会議に先立ち、24日～26日にはPre Conference活動としてICSB Academyが開催された。そこでは、企業、調査研究機関、大学研究者などがいくつかのテーマについて実務、研究などについての講演を行うというもので、若手研究者やビジネスマンに対する学習機会の提供を行っており、私自身はこれには参加していないので詳細な内容は把握していないが、受講者相互の交流も行われていたようである。私自身この会議に出席するのは2000年のイタリア・ナポリでの会議以来17年ぶりのことであり、当時は研究報告のみであったと記憶しているが、近年は、ほかの国際学会と同じように実務家や若手研究者向けの受講機会を設けるようになったものと思われる。

6月27日からの会議は、午前中はまずオープンセレモニーとそれに続く2つの統一セッションで始まった。最初の「The State of MSMEs - Global Report」では、企業家、学者、政府機関からの4人のパネリストによって、地域的並びに国際的なスタートアップ企業に焦点を当てた、経済戦略・政策の現状と将来像について討論が行われた。続く2つめの統一セッションは、「The Future of SMEs - The Force Ahead」というテーマで、AIの発展が中小企業にとってビジネス機会をもたらすという観点から、中小企業とAIは

ともに手を取って進展していくというかなり楽観的な主張がなされていた。また、統一セッションは、28日午前中にも開催され、そのテーマは「Women in High Growth Entrepreneurship」と「The State of Humane Entrepreneurship」であった。

27日午後からは、各報告者によるパラレルセッションが開始された。各セッションテーマは以下の通りである。() の数字はそれぞれのセッション数

- ・ Entrepreneurial Finance (2)
- ・ Entrepreneurship & SME Policy, Ecosystem and National Innovation Systems (3)
- ・ Entrepreneurship and SMEs in Developing Regions
- ・ Entrepreneurship Education, Learning, and Knowledge Dissemination
- ・ Methodological Challenges and New Research Methods Applied to SME and Entrepreneurship Research
- ・ SME and Technology Innovation; Social Innovation and Sustainability
- ・ Academic Entrepreneurship
- ・ SME and Technology Innovation; SMEs and the Digital Economy
- ・ Women Entrepreneurship
- ・ Humane Entrepreneurship (2)
- ・ National & Regional Innovation Systems, Ecosystems and Policies (2)
- ・ Family Firms - Management, Growth and Succession (2)
- ・ Intrapreneurship
- ・ Entrepreneurship and Disruptive Innovation
- ・ Talent Development and Human Capital

28日の夜には、Nua-Nan Bank International Convention Centerにおいてディナーパーティが開催され、台湾の伝統的な踊りやアトラクションを楽しみながら食事をした。

そして29日の最終日には、統一セッションとして「Back to the Future－A Look Back and into the Future with ICSB Most Decorated Fellows」が行われ、ICSBの50年間を振り返りながら、どのようなアイデアが生まれ、それらのトレンドがどのように変わったのか、そして今後どのように変わっていくと思われるのかという点について、パネリストの発言をもとに議論された。その後、閉会セレモニーが行われ、散会となった。

今回は、台湾での開催ということで、アジアからの参加者が多く、日本からも岡室日本中小企業学会会長をはじめ7人ほどが参加していた。

* 詳細については、ICSBホームページまたは2018 ICSB - Taiwanを参照のこと